

# 自立支援部だより

～みんなで考えよう 特別支援教育の専門性～

令和 5 年 2 月 第 4 号  
むこがわ特別支援学校

## 『授業を通しての支援』『個への支援』を考える

先日は兵庫教育大学の嶋崎まゆみ先生の来校日でした。①チームティーチング時のサブの先生の動きについて②視覚支援の有効な使い方についてアドバイスをいただきました。

### (1) **チームティーチングについて**

【TTで気を付けなければならない点】

- ① 教師がお互いに依存的になり、子どもへの働きかけが滞ることがある。  
責任感の薄れ、主担当に任せすぎてしまう。 共通理解の困難（意志疎通上の困難）
- ② T2、T3などの教師の働きかけが、子どもの補助だけに終始することがある。
- ③ その場限りの対応となることがある。  
指導の不統一（共通した理解や対応上の困難）、連携の難しさ。



【TTの有効性】

- ① 「多面的な視点での子ども理解」と「個々に即した対応」
- ② 集団での多様な活動を用意しやすい。
- ③ 互いの発想・方法が刺激となり実践力が高められ、効率的で手厚い事前準備が可能  
他の教師の良い指導法が学べる。

【心がけたいこと】

- ◎ TTを行う教師全員が「授業の主体者」という意識を持つ。  
サブの先生は、どのような動きをしたらよいのでしょうか？ぜひ、考えてみてください。  
**キーワード**：「サブも主体的に」「臨機応変な対応」「息のあった」「信頼できる関係」  
「子どもの実態に関する共通理解」

以前は、TTの教師を「メイン・ティーチャー、サブ・ティーチャー」と呼んだ時期もありましたが、最近では、T1、T2と呼ぶようになってきました。それも、全ての教師が授業を進める主体であることを意識できるようにするためなのです。

### (2) **視覚支援の活用について**

大型テレビの活かし方

- ・文字だけでわかりにくい子どもへ、写真や絵などを入れていませんか？
- ・画面の中の「絵、文字、写真、ビデオのサイズ」を理解しやすいサイズにしていますか？
- ・先生の一方的なしゃべりになっていませんか？（子どもの参加のさせ方を考える）



### ★お知らせ★ 『みやっこファイル』について（西宮版 サポートファイル）

子どもの成育歴や保護者の思いをまとめたファイルです。新入生を迎えるにあたり、保護者の方から提出していただくこともあります。西宮市のHPにダウンロード版があります。ぜひご覧ください。